

地域と歩む学校・家庭

福井市木田小学校

1 取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	3回
中学校区を単位とした協議会	8回
地域及び家庭への学校公開	26回

(2) 地域人材の活用（のべ人数）

講師・ゲストティーチャー	27人
授業ボランティア（含：低ボラ）	880人
登下校支援ボランティア	3000人
その他（ ）	人

(3) 特色ある活動

テーマ 心の教育の充実

具体的活動内容

ボランティアや地域の講師の方々、PTAの方々など、多くの方々に子ども達とかわっていただくことにより、子ども達の豊かな心を育てていく。

1 ボランティアによる活動の充実

図書ボランティアの方々が、本の読み聞かせや本の貸し出しなどをしてくださった。図書室が子ども達の憩いの場となっている。他にも、プール指導の支援や登下校の安全確保等、さまざまな機会に支援をいただくことができた。

2 講師

福井豪雨における木田地区の被害の様子について、地域の方を講師として招き、子ども達にわかりやすく説明していただくことができた。

また、木田地区の特産である「木田しそ」について農家の方を講師として招き、話を聞いたりデザートをつくったりした。

このように、各学年の発達段階に応じて多くの講師の方々に来ていただき、適切に指導していただいた。



【PTAによる寸劇】

3 PTA

PTAの実行委員会の方々や各委員会の方々が、子ども達の豊かな体験や親子の交流をはかることなどを目的として、様々な活動の企画運営をしてくださった。

また、本年度より、緊急時支援室を立ち上げ、非常時に学校に駆けつけてくださるサポーターの登録をおこなった。夏季休業中には、サポーターの方々への説明会を実施するとともに、非常時の自動車誘導等について共通理解をはかった。

成果と課題

PTAや地域の方々がたくさん学校に来て下さり、子ども達との多くの出会いやふれあいの機会を持つことができた。また、多くの方々に支えられているという思いを、子ども達自身が感じ取っていた。講師やボランティアとして参加してくださった方々から、「子ども達から元気をもらえた」「こちらが感謝したい」という声も多くいただくことができた。